

銚子の魅力を発信するちょよ!



のーい♡銚子

第52回

ツイッターで銚子の魅力を発信 銚子のとある生徒会さんの巻

銚子の魅力を発信する人気ツイッターアカウント「銚子のとある生徒会」を知ってるちょよ? 一体誰がやってるの?

「いろいろな意見が出たけど実際に行動する人は少ないと思いました。だったら自分たちがやってみようって」

メンバーの中心、伊東葉菜さん(鹿島学園高・17)は活動のきっかけを振り返る。

「銚子のとある生徒会」は銚子の魅力的な景色やグルメ、イベント情報をSNSの短文投稿サイト、ツイッターで2年半前から発信している。

当時銚子二中の3年生で生徒会メンバーだった伊東さん、中西海翔さん(市立銚子高・17)、滑川唯人さん(同・17)の3人は市内中学校の生徒会が集まる交流行事に参加し、まちづくりのアイデアを出し合った。S



▲左から伊東葉菜さん、中西海翔さん、滑川唯人さん。かつての銚子二中学生会メンバーで幼稚園からの幼なじみ



▲アカウントはメンバー手書きのカモメの絵が目印

▶QRコードをスキャンして銚子のとある生徒会をフォローしよう



銚子のとある生徒会では発信してほしい情報もいつでも大募集中ですよ!

NSで銚子の魅力を発信しようと思いたった伊東さんは、なんとその日のうちにツイッターアカウントを開設。中西さんと滑川さんは驚きつつも共同運営を快諾し、翌日には銚子みなとまつり花火大会取材。これが記念すべき初めての投稿になった。投稿内容は校長先生はじめ二中の先生方にも相談し、助言をもらった。利用者の年代が幅広いツイッターの投稿で気を付けているのは「品のある言葉つかい」と画面表示を考慮して「写真の被写体を中央に配置すること」。

当初、活動は中3の夏休み限定の予定だったが、徐々に増えた閲覧者から励まされる中「期待に応えたい」と継続を決意。現在は隔週ペースで更新している。中学卒業、高校進学の節目を経て、来年は大学受験を迎える。

「たぐさんの方からの励ましがあって続けられた。まだ先のことには決めていない。できる範囲で無理せず続けたい」と伊東さん。手伝うと言ってくれる人もいたが「3人という人数と幼なじみという絶妙なバランスで続いている」と自分たちを冷静に分析する。

「私たちは発信するだけ。すごいのは企画する側の人。本当に尊敬します」と伊東さんが言えば、「銚子を離れたら見えてくる魅力もあると思う。いつか企画する側になりたい」と滑川さん。「進学や就職で離れても、どこにいても銚子のことには応援していきたい。大人になったらまた3人でプロジェクトをやるのもいいかも」と中西さんが締めくくると「いいね〜やりたい!」と二人。若者たちの将来には無限の可能性が広がっている。

わんぱく登場



住所、氏名、連絡先、お子さんの名前(ふりがな)、生年月日を記入し、写真を郵送またはメールで送付ください。窓口でも受け付けます。
☎ 秘書広報課 ☎(24) 8823 (郵送)〒288-8601若宮町1-1 (メール)koho@city.choshi.lg.jp



写真大募集!

広報ちようし 令和2年3月号第1218号 令和2年3月1日発行
発行/銚子市 編集/秘書広報課
〒288-8601 銚子市若宮町1-1 ☎0479 (24) 8181 (代表) <http://www.city.choshi.chiba.jp/>

広報ちようしは、読みやす〜わかりやすいデザインのため「UD(ユニバーサルデザイン)フオン」を使用しています。



人のうごき 令和2年2月1日現在 人口 60,193人(-134人) うち外国人住民人口 2,234人
男 29,176人(-70人) 女 31,017人(-64人) 世帯 27,183世帯(-37世帯) ※カッコは前月比
令和2年1月中の人口動態 出生 17人 死亡 124人 転入など 107人 転出など 134人